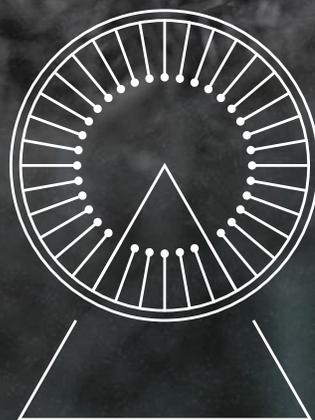


KAC Performing Arts Program 2021 / Music #3

安野太郎 ゾンビ音楽  
大霊廟Ⅲ

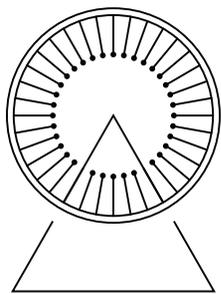


サークル・オブ・ライフ

2022.03.26 土 19:00 | 03.27 日 14:00 | 京都芸術センター 講堂

出演: 今井貴子 / 清水慶彦 / 安野太郎 / 和田悠花

# 安野太郎 ゾンビ音楽 大霊廟Ⅲ



## サークル・オブ・ライフ

2022.03.26 土 19:00 | 03.27 日 14:00 | 京都芸術センター 講堂

元小学校という歴史を強く感じさせる空間を生かし、毎年様々なプログラムを展開しているKAC Performing Arts Program/Music。今回は作曲家・安野太郎によるプロジェクト「ゾンビ音楽」の、5年ぶりとなる新作公演を開催します。

新作大ゾンビミュージカル『大霊廟Ⅲ—サークル・オブ・ライフ—』は、音楽行為や表現をめぐるエコシステムをテーマにしています。本公演の制作のために安野らは、音楽をめぐる価値づけや、音楽を取り巻く労働や社会生活の実態について、様々な立場で音楽に関わる音楽家への、アンケート調査やインタビュー取材を行いました。

今回の公演は、これらの取材成果と新旧の「ゾンビ音楽」を織り交ぜて構成されます。「ゾンビ音楽」を奏でるのは、ゾンビオペラ『死の舞踏』（フェスティバル / トーキョー15, 2015）で初登場した高さ4メートルの檣による大ふいご装置。これまで人間と全く異なる存在であると考えられてきた「ゾンビ」たちが、人間と美学の悲喜交々を、音楽で彩ります。「ゾンビ音楽」の新たな展開に、ぜひご期待ください。

安野太郎 TARO YASUNO <http://taro.poino.net/>

作曲家。1979年生まれ。日本人の父とブラジル人の母を持つ。いわゆるDTMやエレクトロサウンドとしてのコンピューター・ミュージックとは異なる軸で、テクノロジーと向き合う音楽を作っている。代表作に『音楽映画』シリーズ、『サーチエンジン』、自作自動演奏機械の演奏による『ゾンビ音楽』シリーズ。

近年の活動に「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」参加(2021)、個展「安野太郎：アンリライズド・コンポジション『アイコン2020-2025』」(アートフロントギャラリー, 2020)、「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」(第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 日本館代表作家チームとして, 2019)等。東京音楽大学作曲科卒業。情報科学芸術大学院大学(IAMAS)修了。2022年現在、愛知県立芸術大学准教授。

### チケット情報

料金 一般前売3,000円/当日3,500円 adv 3,000 yen / door 3,500 yen  
U25 2,500円(前売・当日共) Discount for under 25 years old 2,500 yen  
\* 全席自由 \* 未就学児入場不可 \* unreserved seat \* Preschool children are not allowed to enter.

チケット取扱 京都芸術センター 窓口 [10:00-20:00] LivePocket [24時間]

〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2  
問合せ:Tel. 075-213-1000

<https://t.livepocket.jp/e/yasuno>

\* 窓口販売のみ。電話・FAXによる予約は不可。

\* クレジットカード決済、コンビニ決済、キャリア決済  
\* QRコードよりアクセスください。



作曲：安野太郎 出演：今井貴子/清水慶彦/安野太郎/和田悠花

プロジェクトコーディネーター：小野寺啓 舞台監督：渡部景介 照明：十河陽平(株式会社RYU) 宣伝美術：松見拓也 協力：アンケートとインタビューに答えてくれたみなさん

主催：京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)



助成：芸術文化振興基金助成事業



撮影：後藤悠也

### ゾンビ音楽とは

安野太郎が2012年から継続する、ゾンビと呼ばれるロボットが演奏する音楽のプロジェクト。笛を演奏する為の運指をnビット(リコーダーの場合は8ビット)の数列に見立てており、楽曲はそのnビットの数列を操作し構成することによって作曲を行っている。このような理屈は人間の美学に基づいておらず、結果として表現されるものは人間側からみたら奇妙な音や音楽に聴こえる。その奇妙さを人間の視点から捉えた言葉として「ゾンビ」という言葉があてはめられている。また「ゾンビ」は生命無しで身体だけが動いているというロボット/機械の隠喩ともなっている。これまでに2枚のアルバム(「DUET OF THE LIVING DEAD」「QUARTET OF THE LIVING DEAD」)を、pboxxレーベルよりリリース。2015年のF/T15参加をきっかけに、W2m×D2m×H4mの大ふいご装置によるゾンビ音楽を実現。以降この装置によるゾンビ音楽を「大ゾンビ音楽」と呼んでいる。2017年、大ゾンビ音楽による公演『大霊廟』で、清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017 審査員賞(高橋源一郎)。第7回JFC作曲賞(日本作曲家協議会, 2013年)、TEF vol.8奨励賞(2013年)など受賞多数。

## TARO YASUNO'S ZOMBIE MUSIC THE MAUSOLEUM III | CIRCLE OF LIFE



KAC Performing Arts Program 2014 / Music 安野太郎新作ゾンビ音楽「死の舞踏」 撮影：井上嘉和

### 京都芸術センター

〒604-8156  
京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2  
TEL 075-213-1000 FAX 075-213-1004  
E-mail info@kac.or.jp <https://www.kac.or.jp/>

地下鉄烏丸線「四条駅」、阪急京都線「烏丸駅」  
22番・24番出口より徒歩5分。  
駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

